

政 務 活 動 費 出 金 票

No. 2

出 金 日	令和 4 年 4 月 21 日																																														
項 目	①調査研究費 ②研修費 ③広報費 ④広聴費 ⑤要請・陳情活動費 ⑥会議費 ⑦資料作成費 ⑧資料購入費 ⑨人件費 ⑩事務所費																																														
摘 用	全国地方議会サミット 2022 (5 月 12 日～13 日 早稲田大学大隈講堂)																																														
金 額	38,072 円																																														
支 出 内 訳	参加費 10,000 円 交通費 18,330 円 宿泊費 9,742 円																																														
領 収 書	領収データ - 全国地方議会サミット2022 (5/12-13@早稲田大学大隈講堂) <table border="1"> <tr><td>発行日</td><td>2022年4月21日</td></tr> <tr><td>宛名</td><td>民進 寺崎孝洋</td></tr> <tr><td>合計</td><td>¥10,000</td></tr> <tr><td>領し</td><td>チケット代金</td></tr> <tr><td>注文日</td><td>2022年4月11日</td></tr> <tr><td>注文番号</td><td>16048303</td></tr> <tr><td>主催者</td><td>ローカル・マニフェスト推進連盟事務局 (ローカル・マニフェスト推進連盟)</td></tr> <tr><td>イベント名</td><td>全国地方議会サミット2022 (5/12-13@早稲田大学大隈講堂)</td></tr> </table> Peatix 印刷する 編集モード 領収書 発行No. 13820422 表示日・発行日: 2022年5月14日 Date of display 下記、正に領収致しました。 This is to certify that RIKYU corp has received the following. <table border="1"> <tr><td>宛名 Received from</td><td>民進 寺崎</td><td>様</td></tr> <tr><td>金額 The sum of</td><td>金 9,742 円</td><td>(税込)</td></tr> <tr><td>領し In payment of</td><td colspan="2">宿泊代金として ※クレジットカードにて決済</td></tr> <tr><td>予約番号 Reservation Number</td><td colspan="2">IN0718233813</td></tr> <tr><td>ご利用施設 Accommodation</td><td colspan="2">三井ガーデンホテル大手町</td></tr> <tr><td>宿泊日 Staying Date</td><td>2022/05/12</td><td>より 1 泊</td></tr> </table> ※本紙は電子的に保持している領収データを画面表示したものです。 This is an electronic display of receipt card. 体.com 株式会社 一休 187-0022 東京都港区赤坂3-3-3 住友生命ビル6階 発行No. 13820422 表示日・発行日: 2022年5月14日 Date of display ご利用明細 <table border="1"> <thead> <tr> <th>■宿泊内容</th> <th>宿泊日</th> <th>施設名</th> <th>人数</th> <th>室数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>2022/05/12</td> <td>三井ガーデンホテル大手町</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> ■宿泊代表者氏名 寺崎 孝洋 様			発行日	2022年4月21日	宛名	民進 寺崎孝洋	合計	¥10,000	領し	チケット代金	注文日	2022年4月11日	注文番号	16048303	主催者	ローカル・マニフェスト推進連盟事務局 (ローカル・マニフェスト推進連盟)	イベント名	全国地方議会サミット2022 (5/12-13@早稲田大学大隈講堂)	宛名 Received from	民進 寺崎	様	金額 The sum of	金 9,742 円	(税込)	領し In payment of	宿泊代金として ※クレジットカードにて決済		予約番号 Reservation Number	IN0718233813		ご利用施設 Accommodation	三井ガーデンホテル大手町		宿泊日 Staying Date	2022/05/12	より 1 泊	■宿泊内容	宿泊日	施設名	人数	室数		2022/05/12	三井ガーデンホテル大手町	1	1
発行日	2022年4月21日																																														
宛名	民進 寺崎孝洋																																														
合計	¥10,000																																														
領し	チケット代金																																														
注文日	2022年4月11日																																														
注文番号	16048303																																														
主催者	ローカル・マニフェスト推進連盟事務局 (ローカル・マニフェスト推進連盟)																																														
イベント名	全国地方議会サミット2022 (5/12-13@早稲田大学大隈講堂)																																														
宛名 Received from	民進 寺崎	様																																													
金額 The sum of	金 9,742 円	(税込)																																													
領し In payment of	宿泊代金として ※クレジットカードにて決済																																														
予約番号 Reservation Number	IN0718233813																																														
ご利用施設 Accommodation	三井ガーデンホテル大手町																																														
宿泊日 Staying Date	2022/05/12	より 1 泊																																													
■宿泊内容	宿泊日	施設名	人数	室数																																											
	2022/05/12	三井ガーデンホテル大手町	1	1																																											

本紙に収まらないときは、適宜別紙を作成のこと

承認	会派会長印	経理責任者印

氏 名 寺崎 孝洋

視察報告書

作成者：寺崎孝洋

全国地方議会サミット 2022

場所：東京都新宿区戸塚町 1-104（早稲田大学大隈講堂）

日時：2022 年 5 月 12 日～13 日

内容：

1. 一人一人の多様な幸せを実現する デジタル庁のミッション(基調講演)

牧島かれん（デジタル大臣）

2. 住民自治と多様な議員で構成された活力ある議会(鼎談)

江藤 俊昭 大正大学社会共生学部 教授

寺沢 さゆり 長野県長野市議会 議長／全国市議会議長会 副会長

伊波 篤 沖縄県読谷村議会 議長／全国町村議会議長会 理事

3. オンライン議会の展開事例(セッション)

千葉 茂明 月刊「ガバナンス」編集主幹／コーディネーター

清水 克士 滋賀県大津市議会 議会局長

岩崎 弘宜 茨城県取手市議会 事務局次長

中野 智基 愛知県知立市議会 議長

松尾 徳晴 福岡県春日市議会 議長

米丸 貴浩 福岡県春日市議会議員／広報広聴委員長

4. 多様な議員の一般質問を議会の政策形成へ(講演・セッション)

土山 希美枝 法政大学法学部 教授

西原 浩 北海道別海町議会 議長

青野 敏 北海道鷹栖町議会議員

片山 兵衛 北海道鷹栖町議会議員

5. コロナ2年の経験をどう活かしていくか!?(講演)

廣瀬 克 法政大学 総長

6. 地方議会における男女共同参画の推進と実践(講演・セッション)

林 紀行 日本大学法学部 教授／コーディネーター

永野 裕子 豊島区議会議員／出産議員ネットワーク発起人・代表

高橋 たい子 宮城県柴田町議会 議長 平間 奈緒美 同 副議長

7. 議会改革度調査ランキングとトレンド(講演・セッション)

中村 健 早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長

8. Z世代にも届く！ デジタルを活用した広報・広聴

古井 康介 株式会社 POTETO Media 代表

小林 真子 ZEXT 代表

吉永 一輝 ZEXT 副代表

9. いまこそ問われる！ 地方自治と議会の役割

片山 善博 大正大学社会共生学部 教授／元総務大臣

所感：

このサミットは早稲田大学マニフェスト研究所が主催、全国市議会議長会及び全国町村議会議長会の後援で、今の時代に即した「多様な課題の解決」「多様な意見の集約」「政策への反映」を目的に毎年行われている。2日間にわたる講演・セッションであったが、どの講演でも議会改革が必要で議会の質を上げなければならないと述べられていたのだと感じた。最初に主催者でもある北川正恭教授(元三重県知事・元衆議院議員)が

- 「議員としての活動はあったが、議会としての活動はなかった」

という私たちへの指摘投げかけから始まり、各講演者からは、

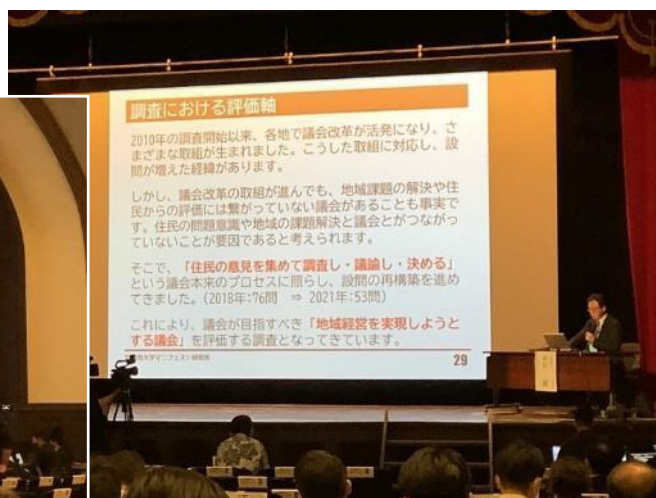
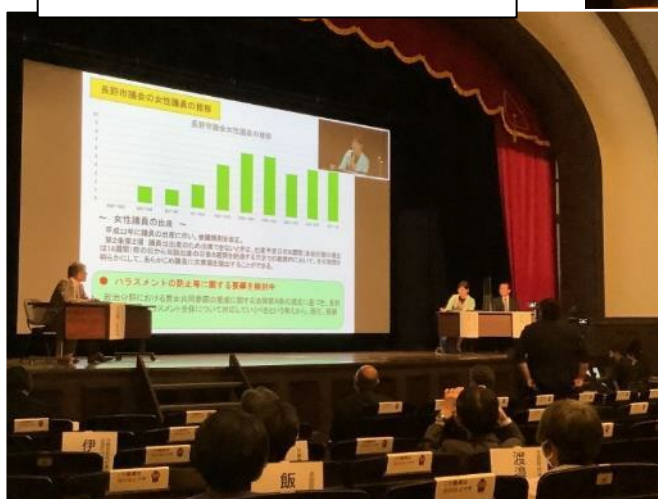
- 議会改革はそれ自体が目的ではなく、「住民福祉の向上」「住民の満足度向上」が目的である
- 委員会の2年任期化で予算決算の連動性を高める必要がある
- 議会終了後の議会報告会では参加者が少ない。議案が出た時点で議案に関する意見聴取する会とする
- 議会事務局は庶務的な存在が多いが、チーム議会の一員という位置付けとなるべき

など多くの指摘、投げかけがあった。

その通り、と思うところが多く議会改革の本質と感じさせられたが、当議会(魚津市議会)で取り入れていく場合、これらの事の先に議員の意識改革が必要かと感じた。そして、議員の意識改革を行うために(仮称)「これからの自治体議員とは？」などの議員研修が必要かもしれない。

以上

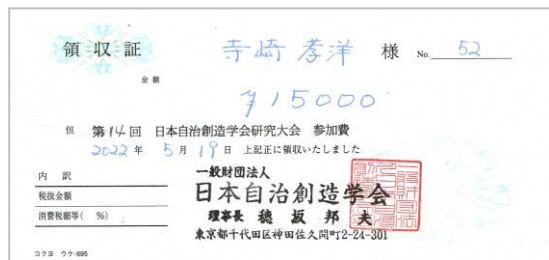
地方議会議長が改革事例を紹介



マニフェスト研究所の調査報告

政 務 活 動 費 出 金 票

No. 3

出 金 日	令和 4 年 5 月 1 9 日
項 目	①調査研究費 ②研修費 ③広報費 ④広聴費 ⑤要請・陳情活動費 ⑥会議費 ⑦資料作成費 ⑧資料購入費 ⑨人件費 ⑩事務所費
摘 用	自治創造学会参加費
金 額	3 9 , 4 6 3 円
支 出 内 訳	参加費 1 5 , 0 0 0 円 交通費 1 8 , 3 3 0 円 宿泊費 6 , 1 3 3 円
領 収 書	  

本紙に収まらないときは、適宜別紙を作成のこと

承	会派会長印	経理責任者印
認		

氏 名 寺崎 孝洋

視察報告書

作成者：寺崎孝洋

第14回日本自治創造学会研究大会

場所：東京都千代田区一ツ橋（一橋講堂）

日時：2022年5月19日～20日

内容：

1. 日本のデジタル政策

牧島かれん（デジタル大臣）

2. 人口減少・成熟社会のデザイン

広井良典（京都大学こころの未来研究センター教授）

3. パネルディスカッション～民間人の活躍で地方活性～

a. 持続可能な地域づくりを目指す海士町の取組み

阿部裕志（株式会社風と土と代表取締役）

b. 面白法人カヤックの鎌倉での取組みと『まちのコイン』

柳澤大輔（株式会社カヤック代表取締役 CEO）

c. JK、青春、1,000 万円

若新雄純（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任教授）

4. 元気な地域を作るは、当事者の視点

山下 剛（朝日新聞ネットワーク本部記者）

5. 新しい千葉の時代を切り開く

熊谷 俊人（千葉県知事）

6. パネルディスカッション『地方行政のリーダーが語る変化への挑戦！～元気な地方を創り出す～』

田中 幹夫（富山県南砺市長）

野口 市太郎（長崎県五島市長）

宮本 和宏（滋賀県守山市長）



所感：

約2日間にわたり、事例発表やパネルディスカッション・大学教授などの研究について盛り沢山の内容であった。それぞれのプログラムで魚津市の活性化に必要なものや取入れ可能なものなどが多々あったが、印象に残った（魚津市に必要なもの？）及び総括的に所感を記す。

「人口減少・成熟社会のデザイン」という演目で京大の広井教授が今の社会状況分析の話をされた。その内容は

- 日本の社会的孤立度という指標は世界の中では低く、それに相まって都会の高齢化が急速に進んでいる
- 「ふるさと回帰」などのフェア（祭り）などは、昔は高齢者が多く参加していたが、近頃は若者が多い
- 地域密着人口が増加している（青年実年層は会社密着型が多かったが、地域密着型も増加している）

これらの状況より、

- 高齢化をチャンスととらえ、歩くまちづくりで交流促進・幸福度アップをする
- 姫路のトランジットモール紹介

などが提起され、再生エネルギーで持続地域を実現していくと述べられていた。

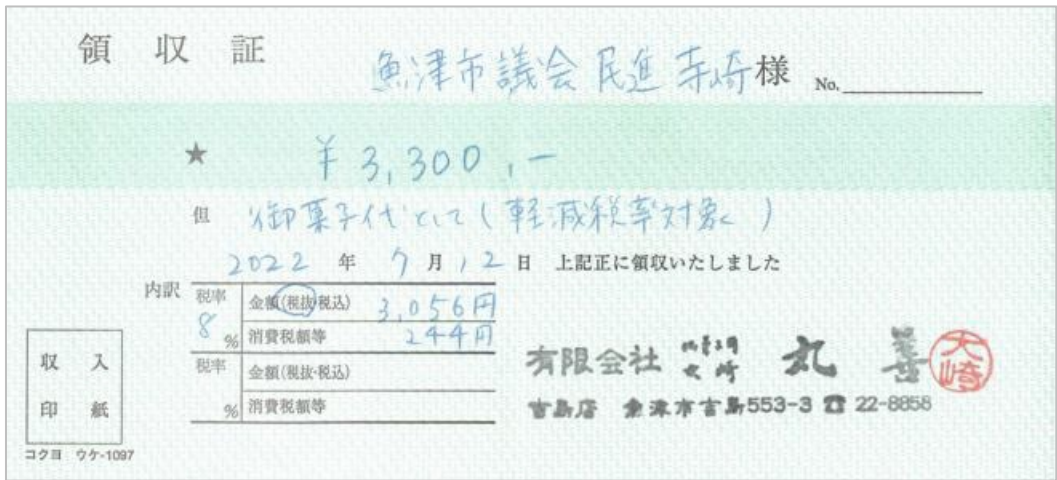
そのほか、いろんな話もされたが、「現状社会（少子高齢・人口減少）での地域活性化・持続」をしていくに当たって、最初に行わなければならない事は「人の交流を促進する」が何より大事な事だと感じた。

～民間人の活躍で地方活性～では、若手経営者・活動家3人のパネルディスカッション（鼎談？）であったが、総じて述べられていたのは「地域づくりは主体者づくり」という事である。話を聞きながらハード(建物)や組織団体などもあるだろうが、最初に必要なのは「主体者づくり」と感じた。また、その主体者は必ずしも地域の人ではなく「外の人・旅の人」でもあり得るがその時に必要なものは、先から住んでいる人達がその人たち（考えを）受入れる事が出来るか？にかかってくると思う。俗にいう「多様性」を受入れる事が必要となってくると感じた。

以上

政 務 活 動 費 出 金 票

No. 5

出 金 日	令和 4 年 7 月 13 日
項 目	①調査研究費 ②研修費 ③広報費 ④広聴費 ⑤要請・陳情活動費 ⑥会議費 ⑦資料作成費 ⑧資料購入費 ⑨人件費 ⑩事務所費
摘 用	飛騨市役所視察
金 額	3,300 円
支 出 内 訳	視察先お土産代 3,300 円
領 収 書	

本紙に収まらないときは、適宜別紙を作成のこと

承	会派会長印	経理責任者印
認		

氏 名 寺崎 孝洋

視察報告書

作成者：寺崎孝洋

岐阜県飛騨市役所視察

場所：飛騨市役所（岐阜県飛騨市古川町本町 2-2 2）

日時：2022 年 7 月 13 日

テーマ：

1. （仮称）飛騨高山大学新設について
飛騨市役所 大学支援室
2. 地域通貨「さるぼぼコイン」について
飛騨市役所 ふるさと応援係

視察者：

小林 地域協働長、高森 商工観光課長代理
山田 地域協働課 主任、寺崎孝洋

対応者（飛騨市役所）：

田中 総合政策課長、土田 大学支援室支援係長、橋本 ふるさと応援係主
査

視察概要：

（仮称）飛騨高山大学の構想や行政における対応・支援、及びさるぼぼコ
インの概要については飛騨市役所担当課よりいただいた資料を添付するので
それを参照のこと

所感：

新設大学についてですが、それは既存大学とは異なり「ボンディングシップ」と
いう考え方を掲げ大学運営をするとの事である。

「ボンディングシップ」とは

「ボンディングシップ」とは、従来型のインターンシップではなく、地域との絆
（Bond）を取り入れ発展させた、飛騨高山大学（仮称）におけるオリジナル教
育メソッド。飛騨市ファンクラブの中で、コアなファン層をグループ化し関係人
口を増やす「部活」を創設し、ファン増加の企画・立案・実装までを市職員と共
に実施する。また、実際の行政での様々な施策を知り、立案に至るまでのプロセ
スを体感する。

という事で、学生が地域と密着しながら実際に課題解決を行いながら学び、その結果若者の域外流出を止める事も狙いであると考えられる。また、大学の授業内容は今までの受動的な授業でなく能動的な生徒を育成するための授業で、起業家を生むベースにもなる大学になる可能性を感じた。

ただ、カリキュラム（ボンディングシップ授業）を行っていく上での課題は、それらを受入れる企業・団体・組織などがあるか？手を挙げてもらえるかというところである。そのため担当者も大学と受入れ先を結びつける「コーディネーター」が重要になると述べていた。この「コーディネーター」の重要性はこの件（飛騨高山大学新設）だけでなく、今全国各地で行われている「協働」「市民参画」などの取り組みを進めていく上での重要性を改めて感じた。

また、大学では「共創」を掲げているが、当市でよく使われている「協働」、個人的ではあるが、市民と協力して働くというイメージのある「協働」から「共創」に切换え、市民に理解を求めていく必要があるのでは？と感じた。

さるぼぼコインについては、地域通貨のオピニオンリーダーであるからなのか？市民（消費者）や商店の方々の「誇り」や「思い入れ」があるように感じられた。その理由までは分からないが、ミラペイの継続性を考えた場合、その点をもう少し研究する必要があると思われる。また、飛騨信金（民間）が主体的に行われた理由もあるだろうが、さるぼぼコイン運用当初から、スマホアプリのみで運用されており、そのことがポイントでの給付などの事業を行う場合、迅速な事業を行なえる要因となっている。（プレミアムポイントなどを付加する場合、紙ベースの商品券的なものを発行しないので、決定から実行までが速い。また、ボランティアなどでポイント付加する場合などでは、2次元バーコード印字の100ポイント券等を配布しスマホアプリで各自読取ってもらえばよく、配る方貰う方双方手間がかからない）

また、主体的運用者である飛騨信金の相当な努力があると感じた。ただ、その努力は飛騨信金の顧客を増やすのみならず、地域や住民の利益につながる事、すなわちWIN⇄WINの関係になるように努力されていることに興味もした。現在ミラペイの中核をなしている金融機関にも努力（WIN⇄WINの）をお願いしていく必要があると思う。

以上

政 務 活 動 費 出 金 票

No. 7

出 金 日	令和 4 年 9 月 3 0 日
項 目	①調査研究費 ②研修費 ③広報費 ④広聴費 ⑤要請・陳情活動費 ⑥会議費 ⑦資料作成費 ⑧資料購入費 ⑨人件費 ⑩事務所費
摘 用	
金 額	2, 0 0 0 円
支 出 内 訳	北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出する富山県地方議員連盟会費 2, 0 0 0 円
領 収 書	領 収 書 〒 2, 0 0 0 - ただし、令和 4 年度北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出する富山県地方議員連盟会費として 令和 4 年 9 月 3 0 日 寺崎 孝洋 殿 北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出する富山県地方議員連盟会長 

本紙に収まらないときは、適宜別紙を作成のこと

承	会派会長印	経理責任者印
認		

氏 名 寺崎 孝洋

No. 9

出 金 日	令和 4 年 1 1 月 1 7 日		
項 目	①調査研究費 ②研修費 ③広報費 ④広聴費 ⑤要請・陳情活動費 ⑥会議費 ⑦資料作成費 ⑧資料購入費 ⑨人件費 ⑩事務所費		
摘 用	政策サイクル推進地方議会フォーラム		
金 額	3 3 , 3 3 0 円		
支 出 内 訳	フォーラム参加費 15,000 円 交通費 18,330 円 合計 33,330 円 報告書・領収書は別紙 参加費振込		
領 収 書	お振り込み MONEYKit お振り込み履歴 お振り込み履歴の一覧です。 ■お名前 寺崎 孝洋 さま ■店舗番号 001 ■口座番号 3544382 お振り込み検索 お振り込み日、お受け取り人名での検索ができます。 入力時のご注意 ■検索条件 お振り込み日 西暦 年 月 日から 西暦 年 月 日まで お受け取り人名 ザイ) ニホンセイサンセイホンブ ※表示開始日と表示終了日の両方を必ず入力してください。 検索 お振り込み履歴 検索条件に該当する履歴を5件ずつ表示いたします。お振り込みできなかったものがある場合は、指定日に関わらず最初に表示いたします。条件がない場合は最近のものから5件表示いたします。 お振り込み日 西暦 2022年11月23日 お受け取り人名 ザイ) ニホンセイサンセイホンブ ■受け付け番号 202211230008780 ■お振り込み状況 振り込み済み ■お振り込み先金融機関名 みずほ銀行 ■支店名 渋谷中央支店 ■預金種別 当座 ■口座番号 110333 ■お振り込み人名 テラサキ タカヒロ ■ご連絡先電話番号 0765-24-31** お振り込み額 15,000 円 ■お振り込み手数料 0 円 (消費税込み) ■参考情報 セイサクサイクルスインシチホウギカイ 請求書 〒9370068 富山県 魚津市 本新町3-2 魚津市議会 寺崎 孝洋 様 発行日：2022/11/16 請求書番号：D272464-11 請 求 書 魚津市議会 御中 公益財団法人日本生産性本部 地方議会改革プロジェクト 〒102-8643 東京都千代田区平河町2-13-12 TEL 03-3511-4013 FAX 03-3511-4039 請求金額 15,000 円 振込手数料はご負担願います。 お支払いは下記のいずれかの口座にお振込みください。 みずほ銀行 渋谷中央支店 当座 No. 0110333 三井UFJ銀行 渋谷支店 当座 No. 9003703 中央労働金庫 渋谷支店 当座 No. 1004724 りそな銀行 渋谷支店 当座 No. 803312 東京三菱銀行 本店 当座 No. 5112410 その他の金融機関をご希望の方はお問い合わせください。 2011-1A01-0272464		

本紙に収まらないときは、適宜別紙を作成のこと

承認	会派会長印	經理責任者印
		

氏 名 寺崎 孝洋

政 務 活 動 費 出 金 票

No. 9

領
収
書

政策サイクル推進地方議会フォーラム（交通費）

e5489領収書	
LVA9261C2211151205421 表示日：2022年11月15日	
宛名	魚津市議会 寺崎 孝洋 様
利用金額計	¥18,330- (税込)
お支払方法	クレジットカード払い (カード番号 下4桁 1002)
但し	JR乗車券類
予約番号	42482
購入日	2022年11月15日

きっぷの明細			
ご利用開始日	ご利用人数	ご利用区間	
2022年11月17日	おとな 1 人	区間	黒部宇奈月温泉 - 東京首都圏フリー (往復) (乗車券あり)
		利用列車	乗車日：2022年11月17日 列車：新幹線はくたか 5 5 4 号 区間：黒部宇奈月温泉 - 長野
			乗車日：2022年11月17日 列車：新幹線かがやき 5 0 4 号 区間：長野 - 東京

JR 西日本旅客鉄道株式会社

本件は電子的に保持しているデータを画面表示したものです。

本紙に収まらないときは、適宜別紙を作成のこと

承	会派会長印	経理責任者印
認		

氏 名 寺崎 孝洋

2022 年 11 月 17 日

「地方議会改革プロジェクト」地方議員勉強会

—「議会からの政策サイクル」とは何か—

魚津市議会 会派 民進
寺崎 孝洋

日 時：2022 年 11 月 17 日(木)

場 所：全国町村議員会館

講演内容：「議会から政策サイクル」を構築する

～決算認定、予算審議を連動させて政策サイクルを回す～

可児市議会議員 川上 文浩 氏

～議会からの政策サイクルはどのように組立てればよいか～

会津若松市議会議員 松崎 新 氏

「議会からの政策サイクル」とは何か

大正大学教授 江藤 俊昭 氏

内容及び所管：

講師 3 名は「政策サイクル」を、それぞれ「〇〇とは」「〇〇をどう作る」「〇〇をどう生かす」という視点で話された。

「政策サイクル」とは？の話では、前々から自分も述べている「PDCA」サイクルを回すが基本であり、それを回すためには組織（議会）・人（議員）が継続的に課題に対し議論出来る仕組みが必要とも述べられていた（その点については同感）

具体的には年四回の定例会を通年議会とする。そのことにより、定例会終了毎で終わってしまう（ぶち切られてしまう）課題を協議・討議することができる。すなわち課題解決、議会としての結果が出やすくなるというものである。また、議員の所属委員会などは組織議会毎（1 年毎）で変わるのではなく、複数年継続することにより議員が課題の継続をしやすくなるということである。これらは、当議会でも検討要であるとも感じた。

「政策サイクル」を回している議会では（可児市・会津若松市）市民との懇談会を多く行われている。ただその形式は俗にいう「議会報告会」というものではなく、意見交換会的な形で行われている。「議会報告会」では議会側が「上から目線」「一方的な報告」となりがちで、市民の方からの意見聴取となりにくい。そのため、「委員会と各種団体との懇談」など小さなものを数多く行っているようだ。

最後に、講義の中で大切だと感じたことに「議会としての意見とする」「そのために議員間討議が重要」ということである。可児市などは本会議の質問形式として委員会代表質問を導入している。委員が本会議前にどんな事柄について質疑をするかを議論し、委員会メンバーの総意を確認後、その代表者が質問をする。そのことにより、質疑は重みを増し当局はより具体的な課題解決策を含んだ答弁をする必要せざるを得なくなり、議会の意味・価値が高まっているのではと感じた。

政 務 活 動 費 出 金 票

No. 1 0

出 金 日	令和 4 年 1 1 月 0 1 日																								
項 目	①調査研究費 ②研修費 ③広報費 ④広聴費 ⑤要請・陳情活動費 ⑥会議費 ⑦資料作成費 ⑧資料購入費 ⑨人件費 ⑩事務所費																								
摘 用	地方自治情報化推進フェア 2022																								
金 額	1 8 , 3 3 0 円																								
支 出 内 訳	交通費 18,330 円																								
領 収 書	e5489領収書 LTF0595B2210251056441 表示日: 2022年10月29日 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">宛 名</td> <td>民進 寺崎 様</td> </tr> <tr> <td>利用金額計</td> <td>¥18,330- (税込)</td> </tr> <tr> <td>お支払方法</td> <td>クレジットカード払い (カード番号 下4桁 1002)</td> </tr> <tr> <td>但し</td> <td>JR乗車券類</td> </tr> <tr> <td>予約番号</td> <td>47655</td> </tr> <tr> <td>購入日</td> <td>2022年10月25日</td> </tr> </table> きっぷの詳細 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>ご利用開始日</th> <th>ご利用人数</th> <th colspan="2">ご利用区間</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">2022年10月31日</td> <td rowspan="2">おとな 1 人</td> <td>区間</td> <td>黒部宇奈月温泉 - 東京首都圏フリー (往復) (乗車券あり)</td> </tr> <tr> <td>利用列車</td> <td> 乗車日: 2022年10月31日 列車: 新幹線はくたか 5 7 0 号 区間: 黒部宇奈月温泉 - 東京 </td> </tr> </table> JR 西日本旅客鉄道株式会社 本件は電子的に保持しているデータを画面表示したものです。			宛 名	民進 寺崎 様	利用金額計	¥18,330- (税込)	お支払方法	クレジットカード払い (カード番号 下4桁 1002)	但し	JR乗車券類	予約番号	47655	購入日	2022年10月25日	ご利用開始日	ご利用人数	ご利用区間		2022年10月31日	おとな 1 人	区間	黒部宇奈月温泉 - 東京首都圏フリー (往復) (乗車券あり)	利用列車	乗車日: 2022年10月31日 列車: 新幹線はくたか 5 7 0 号 区間: 黒部宇奈月温泉 - 東京
宛 名	民進 寺崎 様																								
利用金額計	¥18,330- (税込)																								
お支払方法	クレジットカード払い (カード番号 下4桁 1002)																								
但し	JR乗車券類																								
予約番号	47655																								
購入日	2022年10月25日																								
ご利用開始日	ご利用人数	ご利用区間																							
2022年10月31日	おとな 1 人	区間	黒部宇奈月温泉 - 東京首都圏フリー (往復) (乗車券あり)																						
		利用列車	乗車日: 2022年10月31日 列車: 新幹線はくたか 5 7 0 号 区間: 黒部宇奈月温泉 - 東京																						

本紙に収まらないときは、適宜別紙を作成のこと

承	会派会長印	経理責任者印
認		

氏 名 _____ 寺崎 孝洋 _____

2022 年 11 月 2 日

自治体情報化推進フェア 2022 視察について

魚津市議会 会派 民進
寺崎 孝洋

日 時：2022 年 11 月 1 日(火)
場 所：幕張メッセ 展示ホール 7・8

講演内容：デジタル田園都市国家構想に向けた地方デジタル化戦略
～誰もがいきいきと暮らせる地域社会を目指して～

パネリスト：井澗 誠（和歌山県白浜町長）、手塚 悟（慶應義塾大学教授）
加藤 百合子（㈱エムスクエアラボ代表）、西村 出（セブソイルフロンティアシステム本部長）
吉本 和彦（J-LIS 理事長）
モデレータ：関口 和一（㈱MM 総研所長）

内容及び所感

【講演について】

マイナンバー制度導入・取得を訴える内容が多かった。マイナンバーを基にして DX を推進していくことが望まれているので、そのようなディスカッションになるのは仕方ない面はあるが、パネリストの言葉の端々で改めて感じさせられたのは、DX は手段であり、その目的は生活者の「幸せの向上」であるということである。私たちは DX 推進のそもそも論を見失うことなく、これら事業に関わっていく必要がある、ということである。



【展示ブースについて】

今回は自治体事務作業の効率化のソフト紹介や総務省が提唱している「地方公共団体情報システム標準化」（以下標準化）関係の出店が多かった。特に標準化については総務省より方針が示されているものの、詳細についてはまだ不明な点が多くベンダー（ソフト作成者）の展示も概念的な展示しかされておらず、これからというところであった。今後標準化しDX（ソフト導入）で効率化を進めていくのは必然であるが、ソフトを導入する前の事務作業フロー作成（BPMN 作成）が重要であり、情報システム標準化する・しないにかかわらず 今から BPMN 作成に取り掛かる必要性を強く感じた。

綿密な BPMN 作成を怠ると例え高価なソフトを導入しても使い物にならないモノとなり税の「無駄遣い」となる危険性があるとも感じた。

以上